

育成センターだより

笑顔で15の春を迎えよう！！

節分と言えば豆まきですね！「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という願いをこめて「鬼は外！福は内！」のかけ声と共に、豆をまいて鬼をやっつけましょう！鬼はどこにでもいます。子どもたちの心の中に入ってこくことも。泣き虫おに、おこりんぼうおに、やだやだおに、ちらかしおに…。子どもたちの中にもいるかもしれないいろいろな鬼も、まとめて追い払いましょう！



さて、2月になって子どもたちにとって人生の大きな岐路となる時期を迎えました。中学校では、2月6日は特色選抜、連携型選抜、3月10日・11日は一般選抜の公立高校入試が実施されます。昨今、町内中学生の進学率は、ほぼ100%です。そのため、外部から見ると高校入学まで、何の問題もなくそれぞれがスムーズに進んでいるように見えますが、受験生一人ひとりにとっては、学力や特性、親の考えや周りの意見等、いろいろな条件に照らし合わせ、悩みながら最終的に進路決定をしてきていると思います。受験生全員が「笑顔で15の春を迎えられますよう」願っています。(学力検査を受けるので受験生)



～子どもを守るために～

インターネットの利用に係る被害から子どもを守るために、フィルタリングの利用とともに、日頃から家庭でのコミュニケーションをとり、子どもにインターネットの危険性を教えることや、一緒に家庭のルールを作ることが大切です。

- 接続するサイトやダウンロードするアプリは保護者に確認する。
- 個人を特定される情報を書き込まない。
- 知らない人と電話やメール、メッセージの交換をしない。
- 他人のID・パスワードを勝手に使わない。
- 下着姿や裸の写真は撮らない。撮らせない。
- 利用料金や利用時間を決める。
- 困ったことがあれば、必ず保護者にすぐ相談する。
- ルールを守れなかった時のルールを決める。

携帯型のゲーム機や音楽プレーヤーは大丈夫？

携帯型のゲーム機や音楽プレーヤーの中には、無線LAN（Wi-Fi）でインターネットに接続可能なものがあります。コンビニなど無線LAN（Wi-Fi）が設置されている場所では、ゲーム機等もインターネットにつながります。このような機器にもフィルタリングを設定し、保護者がきちんと管理しましょう。

ネットを安全に楽しむ合い言葉

- ・ STOP 立ち止まる（投稿する前に考える）
- ・ THINK 考える（どのような影響があるか）
- ・ CONNECT コネクト 楽しむ



ネット犯罪・被害が続発

SNSに起因する犯罪被害者の実態と対策

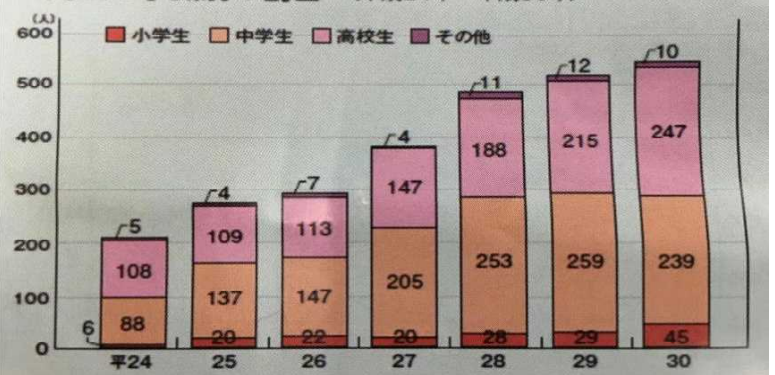
1月28日、徳島県子ども・若者支援地域協議会の支援者養成講習会が県庁で開催されました。「SNSに起因する犯罪被害者の実態と対策」という演題で県警本部生活安全部生活環境課サイバー犯罪対策室の曾我部氏からネット犯罪の少年被害事例などいろいろ話を聞きました。

事例1 自画取り被害に注意 児童ポルノ製造被害

- ① SNSで知り合った男（身分を偽る）と親しくなり悩みや秘密を教えた・・・「秘密をばらすぞ！！」と脅され裸の写真を送らされた。
- ② 「お互いの裸を交換しよう。（先に自分のでない人の写真を送り）ぼくだけのをみてほしい」と言って送らせる。

LINEで面識のない友だちの友だちは知り合いではない
SNSは名前や性別・画像は偽造できる。1対1のやり取りを要求してくる相手は要注意。他人に見られて恥ずかしい写真や動画を送ってはいけません。回収できない。

■「児童が自らを撮影した画像に伴う被害」に遭った児童の学識別の割合（平成24年～平成30年）



事例2 悩み相談から誘拐された 未成年者誘拐被害

SNSで知り合った男に、無料通信アプリ（Twitter/LINE）で悩みを相談していたところ、「慰めてあげる」等言葉巧みに誘い出され、加害者の自宅に連れ込まれた。インターネットのやり取りだけでは、相手の本当の素性はわかりません。（なりすまし被害）同年齢・同性になりすまし、人の悩みにつけ込み理解者のふりをし信用させる。

面識のない相手とはむやみに会わない

県内 SNS被害の未成年児童（令和元年10月で53件）中学生が急増している。

相談直通ホットラインを開設しました

あらゆる悩み事をお気軽にご相談ください

☎ 090(3184)3646

【みーいんなやさしい（自分の）みりよくをしよう】

秘密は守ります。一人で悩んでも解決しません
那賀町青少年健全育成センター 担当 いけすぎ 生杉
E-mail : kyoiku@naka.i-tokushima.jp